



町重要文化財指定 東堂山鐘楼



昭和羅漢

れられ京に上る小町の美しさに魅せられ振り返ったという「片葉葎」も山里に残されています。ぶらぶらと伝説の跡を訪ね歩いてみると、小町のロマンは、町名だけではなく、この土地にしっかりと根を下ろしていることに改めて気づくのでした。

心の豊かさ

坂上田村麻呂の勧請と伝えられる東堂山満福寺をはじめ、その境内の、巨大な自然石の上に建てられた東堂山鐘楼、境内わきに奉納されている約四〇〇体の昭和羅漢、諏訪神社の翁杉、姫杉、さらには発生のかたちをそのまま伝えている小野の獅子舞など、小町伝説以外にも古い歴史がたくさん残っています。かつて町を訪れた民俗学者宮本常一は「田舎だから山里だから古いものが残ったのではない。持ち続ける心の豊かさがあったから古いものがそっくり残っているのです」とのことばを残しています。